

領 収 証

井川克彦

様

No. 480442



但し コリちゃん通信印刷代として (クレジットカードご利用)

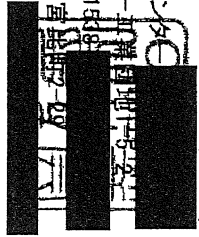
平成28年8月3日

上記正に領収いたしました

収入印紙

内 訳	
税抜金額	¥31,160
消費税額 8%	¥2,492

株式会社 ugo (ユーゴ) カスタマーセンター  
 〒039-2245 青森県八戸市北インター  
 TEL.0502-018-1785 FAX.0178-21-1438  
 本社 / 〒162-0822 東京都新宿区下宮



領 収 証

井川 克彦

様

No. 483165



但し コリちゃん通信印刷代として (クレジットカードご利用)

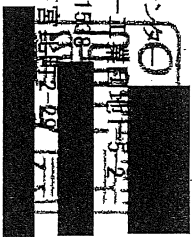
平成28年8月22日

上記正に領収いたしました

収入印紙

内 訳	
税抜金額	¥19,870
消費税額 8%	¥1,589

株式会社 ugo (ユーゴ) カスタマーセンター  
 〒039-2245 青森県八戸市北インター  
 TEL.0502-018-1785 FAX.0178-21-1438  
 本社 / 〒162-0822 東京都新宿区下宮



(5) 広報費

ポイント

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領収書データ

表示日:2017年3月12日

下記、正に領収いたしました。

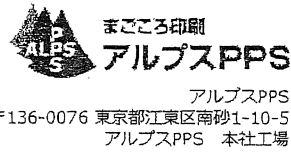
宛名 井川克彦様

金額 ¥37,515-  
注文No.05280000002  
※但し、ゴリちゃん通信番号 印刷代金として  
(クレジット決済)

ご入金日 (ご決済日) 2017年2月5日

ご利用ありがとうございました。

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



領収書  
毎度ありがとうございます  
井川 克彦 様

【別納引渡】  
ゆうメール特別  
50g 県内  
@63 1,200通 ¥75,600  
小計 ¥75,600

課税計 ¥75,600  
(内消費税等 ¥5,600)  
非課税計 ¥0  
合計 ¥75,600  
お預り 現金 ¥75,600

印紙税申告納  
付につき廻町  
税務署承認済

〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時:2017年2月22日 17:50  
担当: [REDACTED]  
発行No.170222K7295 端211021482  
連絡先: 佐野郵便局  
TEL:0283-23-2421

## 領 収 書

平成28年8月4日

井川 克彦 議員

金 額  
(消費税込)

910円

第1回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。  
(平成28年5月15日報告会開催)

佐野市議会報告会運営委員長

飯田 昌弘



原の戦いの前哨戦となる伏見城の戦いで勝利します。

一方真田家は、家康軍と合流するため、宇都宮を目指して進軍、下野犬伏(しもつけいぬぶし)に着いたところで、三成から「豊臣への忠誠を尽くしてほしい」との書状が届きます。昌幸は信幸と信繁を呼び寄せて密談し、その結果、昌幸と信繁は豊臣方への恩義があるため豊臣方につき、上田に帰ることになります。信幸は家康と親類関係になっていることもあり、家康方に味方して宇都宮に向かうこととなります。これが世に言う「犬伏の別れ」です。家康は、反旗を翻した真田父子を討伐するために、秀忠軍を上田に向かわせます。徳川の軍勢は3万8,000、真田軍は、わずか2,500、こうして「第二次上田合戦」が始まります。ますます目が離せませんね！



### えっ、「大河ドラマ館」に「犬伏の別れ」がない



ということで、昨年12月定例会一般質問で、佐野市自らが上田市に出て行ってプロモートするように要請しました。明けて担当課が上田市へ出向きますと、観光課のみならず、わざわざ上田市長自らが出てきて歓迎して下さい、「六文銭の上り」を預かり、それを犬伏の薬師堂に設置させて頂きました。更に、2月に開催された「さのまる」のお誕生会では、上田市から真田丸公認応援団長である「真田幸丸」も参加しました。真田親子の別れから415年、そこで415年の時を経て、「さのまる・幸丸犬伏の出会い」を期待したのですが…(´・`)


### 「佐野は上田にとって聖地ですから」

早朝、幸丸一行は、イベントに先立って、薬師堂に行き、運よく地元の人が出て、お堂の中へも入れて頂いたそうです。「この佐野の地で六文銭ののぼりを見ることが出来るなんて、大変、感動致しました。何と言っても佐野は上田にとっては「聖地」ですから。」と、目を輝かせておっしゃっていたのが、とても印象的でした。

### 全国山城サミットに向けて「赤備え鉄砲隊」を

昨年9月定例会一般質問で、国指定唐沢山城跡の整備と観光立市に関連して、二年後に佐野で開催予定の「山城サミット」に、上田市から真田の赤備えと鉄砲隊、彦根市から同じく赤備え鉄砲隊を招いて競演したらどうか提案致しました。佐野秀郷流流鏑馬に加えて更にサミットを盛り上げてくれると思います。実現するといいですね。





佐野市議会議員 井川克彦(政友みらい) 平成28年夏号

# ゴリちゃん通信

佐野市植野町2138-11 携帯090-1504-3506 igawakatsuhiko@gmail.com

### ネットで「井川克彦」の「一般質問」視聴できます

昨年末に慌しく行われた新庁舎への引越しも終わり、12月定例会から新しい議場で行われています。新庁舎に来庁された方々から、議場の中を見たいという要望が多いことから、議会事務局が開いている時間中であれば、傍聴席から議場の中が見れるようになりました。

また、インターネットによる議会中継の配信も始まりました。インターネットで「佐野市議会のページ」を開き、「議会中継」をクリックします。次に、「議員名から選ぶ」をクリックすると「議員一覧」が出てきますので「井川克彦」をクリックして下さい。昨年12月定例会と今年2月定例会の一般質問の様子が視聴できます。会議名から入る場合は、「年を選択」から27年を選択すると、12月定例会12月17日のトップに、28年を選択すると、2月定例会3月3日のトップに「井川克彦」が出てきます。また、予算審査特別委員会および各常任委員会の様子も視聴できます。なお、昨年9月定例会における私の一般質問は、「会議録」から内容をご覧になれます。



新しい庁舎の感想は如何でしょうか。使い勝手や市民サービスも刷新されていることを期待しています。また、議会傍聴だけでなく、ご来庁の折には是非、7階の展望スペースにお越し下さい。快晴の日には、佐野の街並みだけでなく、遠く富士山を望むことも出来ます。

### 佐野市議会6月定例会にて議運委員長に就任

6月17日に佐野市議会6月定例会が閉会致しました。新しい議長に篠原一世前議長(政友みらい)が再選されました。会派政友みらいでは、他市にならって、議長任期は、市のみならず

県市議会議長会および関東市議会議長会においても十分な職責を果たせないという見地から、二年任期が理想としてきましたが、今回再任ということで一応の決着がつかしました。

私は、今期は「議会運営委員会」の委員長に就任致しました。常任委員会は「厚生常任委員会」に所属しました。「佐野市行政改革懇談会」委員と「佐野市社会福祉協議会」理事は継続となります。

「議会運営委員会」の委員長に就任したことで、立場上、市政に対する「一般質問」は控えることとなりますが、今まで以上に、皆さまの声を市政に反映させ、施策要望等もしっかりと行ってまいりますので、ご意見ご要望をお聞かせ下さい。

## 庁舎建設費70億円も、現在の試算では101億円

新庁舎建設にあたっては、価格だけによる「一般競争入札」ではなく、品質や地元企業の活用などを考慮し、価格を100とし、地元企業や施設等の活用による地元貢献や経済波及効果などを含めた技術提案内容を100として企業側に求め、それらを総合的に点数化して評価し落札者を決める「総合評価落札方式」が議会でも承認され採用されました。その結果、(株)鹿島建設が落札(金額は税込70億 3,500万円)、26年9月定例会において、消費税特例措置期限でもある議会最終日の9月30日に、賛成多数で可決され、10月15日には起工式が行われました。

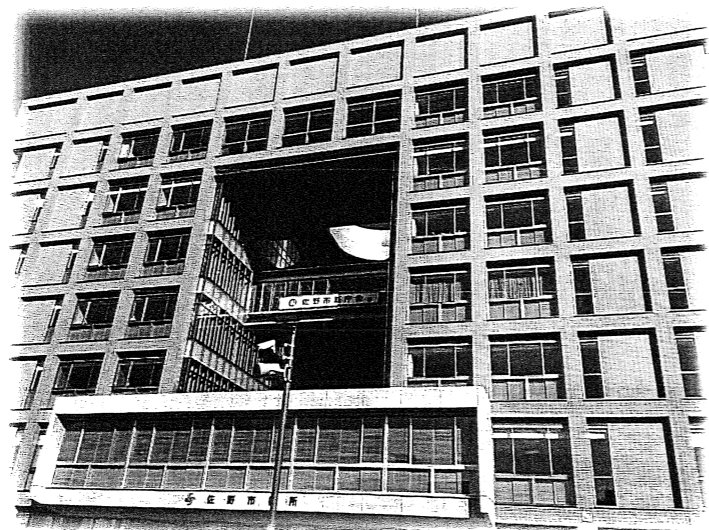
新庁舎が完成した今、精査したところによると、皆さまご存じのように、建設費の高騰に加えて人件費の高騰などから、同じものを建てた場合、現在の試算では、建設費は101億円にまで登るということです。最良の時に最善の選択が出来たのではないのでしょうか。

最新の免震構造や自然環境を生かした庁舎は、両毛六市議員懇談会でも視察が行われ、他市議会議員からの評判も上々でした。

## 地元貢献は約20億円、一般会計からの持ち出しは約1割

新庁舎周辺整備においては、佐野商工会議所建設部会からも要望書が提出されましたが、私も佐野商工会議所議員として同席を致しました。その結果、一般質問にて当局から、地元貢献と経済波及効果が反映されるよう、提案外の発注方式は施工期間短縮とコスト縮減の観点から建設・電気・機械は一括発注、周辺の市民広場の整備工事・周辺植栽工事・備品工事・什器類の納入などは地元業者への発注との答弁を引き出しました。そして、その施行においては履行をチェックし、提案項目が確実に実行されることを、当局には強く求めてきました。

新庁舎建設が完成した今、それらの事項を精査していますが、地元貢献は約20億円になるということです。また、被災地認定を受けたことにより、補助金等の活用も含め、結局「一般会計」からの持ち出しは全体の約一割になりそうです。詳細な数字は、今9月議会の「決算審査特別委員会」で明らかになります。



## 住民訴訟勝訴も市の負担額約1千万円

防災拠点としても活用される新庁舎は価格による入札ではなく、価格と提案内容を含めて評価する総合評価方式による入札でした。しかし価格が5億8千万円高い鹿島建設と契約したのは不服として住民監査請求が出されましたが、金額だけでなく、免震技術や地元貢献なども含めた提案内容が高く評価されたものであるということで棄却されました。しかし更に不服として5億8千万円の損害賠償を求める裁判となりましたが、結局根拠がないということで棄却、市側の勝訴となりました。この裁判で佐野市は裁判費用の約1千万円を一般会計から支出しました。

## その他の質問および提案項目と結果

### ☆「佐野市の産業団地の人気上々」

田沼インター産業団地分譲は、5年計画で実施したところ、ほぼ1年で完売の見込み。

### ☆「佐野におけるインバウンド」

観光地でなくても、海外からの観光客の6割が「ピーター」で、彼らの間では、伝統文化、農業、民家宿泊などの「体験型のインバウンド」が人気上昇中。天明鋳物や飛騨和紙、桃やイチゴなどに加え、佐野の特色を生かした体験型の外国人観光客誘致は可能。

### ☆「唐沢山城跡にて全国山城サミット開催」

平成29年度に(仮称)全国山城サミット佐野大会の開催準備に入りました。

### ☆「新しい佐野ブランドを提案」

佐野ラーメン、いもフライの次は佐野餃子！宇都宮餃子とは差別化。

### ☆「2022年開催の栃木国体に向けて」

赤見陸上競技場内、多目的競技場、球場隣接地の3ヶ所にラグビー競技場を整備。

### ☆「学校教育施設の充実に向けて」

南中の部室更新、植野小のグランド整備に続いて北側と東側一部の老朽化し危険なフェンスの更新を実現！

### ☆「地震後の道路整備と雨水対策」

地震によって道路内側のゆがみが出た医師会通り道路補修整備事業の実施と、みのり幼稚園周辺雨水対策整備事業に続いての雨水冠水対策を継続中です。

### ☆「佐野堀田城跡公園整備事業」

園路広場、給排水設備、電気設備、修景施設、サービス施設、管理施設及び植栽の整備を今年度実施。

### ☆「もぐり橋更新事業」

平成29年度に予算化、30年度に実施の予定。



## NHK大河ドラマ「真田丸」と「犬伏の別れ」について

鶴瓶の「家族に乾杯」で、大河ドラマ「真田丸」で真田昌幸を好演している草刈正雄が佐野を訪れました。ご覧になりましたか？「真田丸」の中で「犬伏の別れ」が出てくるのは9月上旬あたりでしょうか。

北条氏滅亡後、天下統一を果たした秀吉がなくなり、いよいよ家康が天下取りへと動き出します。慶長5年(1600)、会津の上杉景勝に謀反の動きがあるとして、家康は会津征伐に出陣、佐和山城で蟄居(ちつきよ)の身であった三成は、好機と見て、家康打倒のために挙兵し、関ヶ



## 橋の上にお絵描きをしました

1月22日に伊保内橋の開通を記念して、地元伊保内町内の方々が集まって、真新しい橋の上に思い思いのお絵描きをしました。私は得意なゴリちゃんの絵を描き、子供たちと一緒に色をぬりました。最後にドローンによる記念撮影もあり、地元の要望に国交省もなかなかやるな！といった感じです。3月31日に完成し、佐野市に引き渡しとなります。

## すずかけの木のお別れ会

佐野市立植野小学校の校木で、多くの方々の心象風景となっている樹齢100年のすずかけの木(アメリカプラタナス)。専門機関の調査の結果、中が空洞または腐った状態で、強風による倒木の可能性が大であるとのこと。天樹齢を全うした歴史ある木に何らかの式典ができないか、木材を利用してテーブルか何かの形で記念に残せないか提案致しました。昨年この木の実から二世が誕生しました。不思議な巡り合わせです。お別れ会が2月20日の開催に決定致しました。



## その他の実績と提案事項の進捗

### ☆「佐野市の産業団地の人気上々で完売」

田沼インター産業団地分譲で最後の一番大きな区画に食品製造業「栄屋乳業」が進出。セブンイレブンなどのコンビニにも製品が多く置かれています。佐野の立地の優位性が認められたのでしょうか、民間の不動産屋さんにも問い合わせが多いと伺っています。今後大きな区画を求めて来る企業が予想されます。

### ☆「佐野歯科医師会との連携による健康な歯への取り組み」

佐野歯科医師会からご提案を頂いた内容を会派要望書に反映しました。その結果佐野市の全小学校でのフッ素塗布が2月議会での承認を経て新年度より実施される見通しになりました。「健康は健口から」子供達の歯の健康への取り組みが前進します。

### ☆「学校教育施設の充実に向けて」

佐野で一番古かった南中の部室を更新したのをはじめ、植野小の荒れたグラウンド整備に続いて、北側と東側一部の老朽化し危険なフェンスの更新を実現しました。今年度は危険防止のため、植野小学校の校木「すずかけ」の伐採を3月中に予定しています。種子から育てた二世が育っています。

### ☆「地震後の道路整備と雨水対策」

大きな車が通ると家が揺れるとの情報から、調査依頼をした結果、地震によってできた道路内側のゆがみが判明。すぐに医師会通り道路補修整備事業を実施しました。また、みのり幼稚園周辺雨水対策整備事業に続いて、要望聞き取り等により雨水冠水対策を継続中です。大きな気象変動により、国レベルの根本的なインフラ整備事業補助の実施が必須です。

### ☆「佐野堀田城跡公園整備事業」

園路広場、給排水設備、電気設備、修景施設、サービス施設、管理施設及び植栽の整備が年度中に終了し、4月に開園式を予定しています。

### ☆「もぐり橋更新事業」

地元からの要望に応え、平成29年度に予算化し、平成30年度の実施を予定しています。



佐野市議会議員 井川克彦(政友みらい) 平成29年春号

# ゴリちゃん通信

連絡先:佐野市植野町 2138-11 携帯 090(1504)3506 メール igawakatsuhiko@gmail.com

## 可能性に満ち溢れた交流拠点都市

## まち・ひと・しごと

## すべての世代に活力を!

2017年12月に佐野市は佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。まち・ひと・しごと創生とは2008年に始まった人口減少は、今後加速的に進む。人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する。まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。というもので、地方においても、基本目標に合わせてその地方にあった策定と数値目標が義務付けられています。



まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すという目標は、佐野市の天災の少ない、交流拠点としての優位性を考慮すると、今後の佐野市の指標となるものと考えます。その中で環境にも配慮しながら産業団地造成やそれに伴う人口増加を見据えて、安心して結婚、出産そして子育てができるよう、医療機関等と好連携した育児支援と、教育施設および養育の質を上げていく努力が必須です。もちろん高齢化社会における時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域間の連携も大切になります。公共交通の充実や歩いて暮らせるような地域づくりも地域防災とともに、地方で安心して暮らせるようになるために必要ですね。

## 「佐野市のまち・ひと・しごと総合戦略の目標」

2060年の目標人口である85,000人を達成するための3つの基本目標と施策

### 基本目標1 「安定したしごとをつくる」

- 地域貢献企業・創業者への応援体制確立
- 地域資源を生かした地域産業の振興
- 都市型農業の推進と農業経営の規模拡大



## 基本目標2 「新しい人の流れをつくる」

○「住んでよし、訪れてよし」佐野市シティプロモーション  
○Uターン促進

○移住者受け入れ態勢の整備

## 基本目標3 「結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」

○結婚・妊娠・出産の支援

○安心して子育てができる環境づくり

## 基本目標4 「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る」

○拠点連結(任万イ)型都市構造の推進

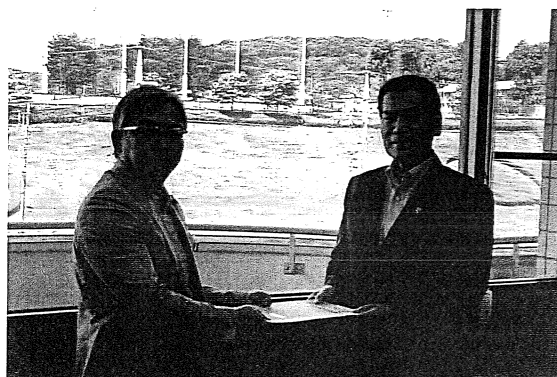
○地域づくり活動の支援 ○地域防災体制の充実



## 今年は何年、年男です！

佐野に住んでちょうど30年が経ちました。干支である「酉」は元来「酒つぼ」を表し、収穫した果実から酒を作ることから、「実り」や「成熟」の意味を表すとのこと。また「とり込む」ということで、プロモーション事業が実を結び、本市への集客につながれば嬉しい限りです。還暦には、「生まれ直す」という意味もあるとか。「新しいぶどう酒には新しい革袋」という格言のとおり、生まれ立ての年を、更なる「実り」と「収穫」を目指して、新たな気持ちで佐野市にある無限の可能性の扉を開く鍵さがしを楽しみたいと思います。

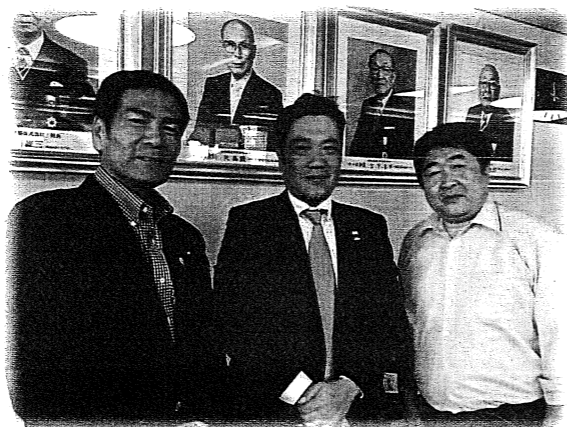
## 両毛六市議員懇談会会長として



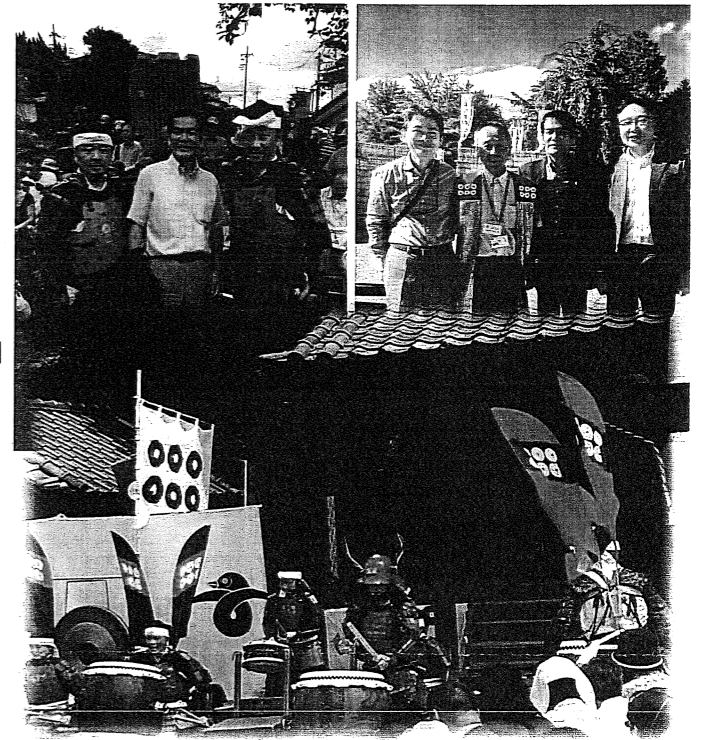
両毛六市(桐生、太田、みどり、館林、足利、佐野)議員懇談会定期総会が、昨夏佐野市で開催され、両毛地区の市議会議員、議会事務局職員を含め約100名が集まりました。総会終了後「街道と川の歴史に見る両毛～県境を越えたつながり」というテーマで、佐野市教育委員会の出居博課長に講演をして頂きました。温故知新、東山道を中心に交通の要衝としても重要なエリアであった両毛地区のポテンシャルの高さを感じました。この懇談会では各市の取り組みを討議テーマとする分科会と現地視察も実施しています。写真はみどり市宮崎会長に引き継ぎした時のものです。今年は1月26日にみどり市で懇談会を実施しました。

## 上田市へ視察研修・老の後の展望

昨年10月6日佐野商工会議所の金融情報教育部会視察研修で上田商工会議所を訪問。真田十勇士ガーデンプレイス、商店街振興組合「うえだ原町一番街商店会」、真田丸大河ドラマ館と駆け足の研修でしたが、ご当地気質でしょうか、やり始めたことはとことんやり抜く気概が、毎週開いている商店街の戦略会議にも感じられました。また署名活動から始まり、最初は行政も見向きもしなかった大河ドラマ誘致への軌跡なども大変参考になりました。



「真田丸」の放送が終わり、今は「女城主直虎」で佐野市とゆかりのある井伊家が関係しています。昨年9月4日(日)NHK大河ドラマ「真田丸」「犬伏」の放送に合わせて、「信州上田真田陣太鼓保存会」による「ご当地演奏会第2弾」として「犬伏の別れ」が佐野市犬伏新町薬師堂にて開催、10:30～と13:30～の二回の公演でした。「佐野秀郷太鼓保存会」による「迎え太鼓」で始まった午前の部には、約800名の方が沿道にまで溢れる盛況でした。「真田陣太鼓保存会」の三浦さんとも再会、幸村の兜を身に付けての熱演でした。翌週の日曜日には、「市民体育祭」と同時に、「駅前交流プラザばるぼーと」周辺で「丸まるフェスタ」が開催、上田市からも「ゆきたん」が参加。10月には、「佐野商工会議所金融情報教育部会」の研修で再び真田の地へ。上田城址と大河ドラマ館では「真田丸誘致の侍大将」である橋詰さん自らが案内役を買って出て頂きました。ご当地つながりで交流の輪が広がり、上田市と佐野市との交流が更に深まることを期待しているとのことでした。

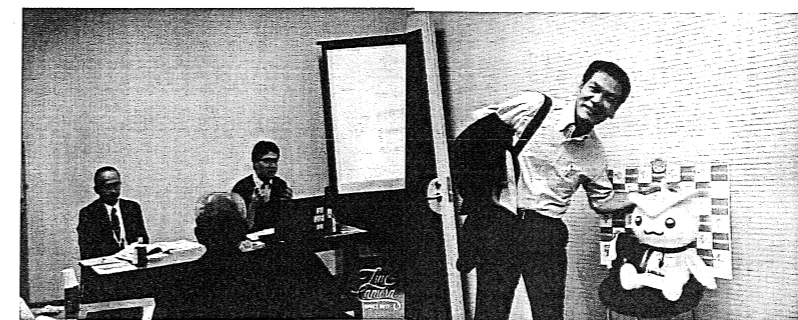


## 第24回全国山城サミット佐野大会開催

今年11月25日(土)26日(日)に開催されることが決定しました。楽しみです。その道標は佐野ロータリークラブ創立55周年記念事業が佐野市との共催により唐沢山城跡国指定史跡化を記念したフォーラム「お城があると夢が広がる」を開催したこともそのひとつでした。各方面から900名を超える来場者が集まり、春風亭昇太師匠と千田嘉博奈良大学学長お二人による笑い軽妙なトークに会場は大拍手の講演会でした。前後して佐野商工会議所においても勉強会が継続的に開催されて実現に至りました。



## 議会改革の先進市へ視察研修



所沢市に続き、1月16日に議会改革の先進市である多摩市へ視察研修に行きました。議会基本条例、市議会倫理条例を中心に議会運営委員長の遠藤ひろ議員から説明を受けました。総括して議会側からアクションを起こして市政を身近なものにする。これに尽きると思います。遠藤議員は私と同じ茨城県出身で、多摩市長選にもチャレンジしています。期待しています(！)